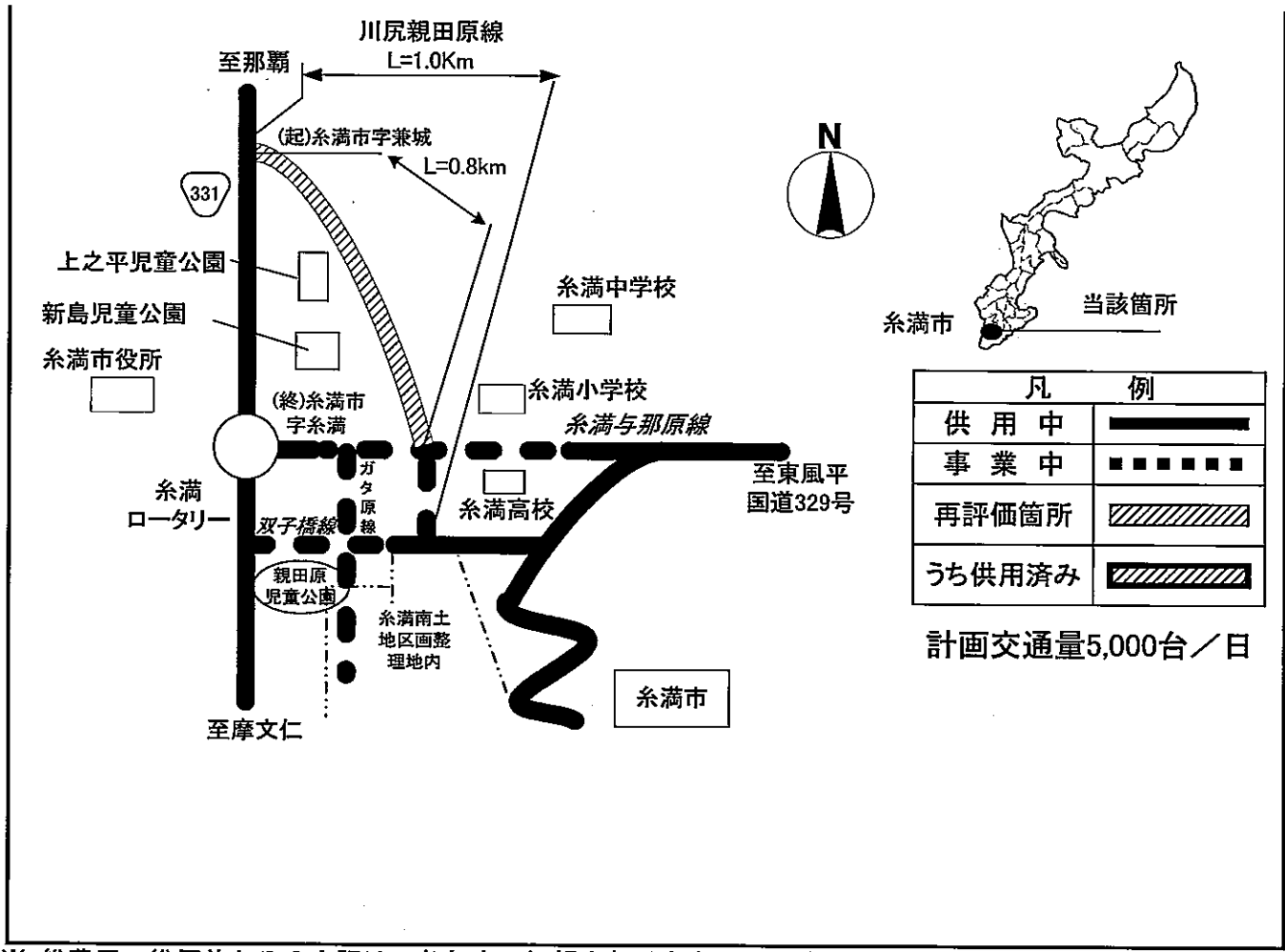


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：沖縄総合事務局建設行政課

担当課長名：村山 継

事業名	川尻親田原線	事業区分	街路	事業主体	糸満市
起終点	自：糸満市字兼城河尻原 至：糸満市字糸満真安良			延長	0.8 km
事業概要：川尻親田原線は、本市の市街地を南北に縦断し、西崎の新市街地と既成市街地及び糸満市土地区画整理事業地区を結び、糸満市字兼城の国道331号を起点に主要地方道糸満与那原線と交差し、市街地の外郭環状道路である外かく線を終点とする補助幹線道路である。					
H6年度事業化	H4年度都市計画決定 (H14年度変更)	H6年度用地着手	H8年度工事着手		
全体事業費	約52(35)億円	事業進捗率	91%	供用済延長	0 km
計画交通量	5,000台/日				
費用便益分析結果	B/C (事業全体)	総費用：(事業)/(事業全体) 18/54億円		総便益：(事業)/(事業全体) 31/86億円	
	(事業)	事業費：18/54億円 維持管理費：0.1/0.1億円		走行時間短縮便益：29.4/84億円 走行費用減少便益：1.0/2.1億円 交通事故減少便益：0.6/0.6億円	
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・安全災害への備え（火災時の延焼遮断・6m以上の道路がない・1Km以内で到達出来る） ・環境生活環境の改善（その他） 					
関係する地方公共団体等の意見					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
歩道が一部を除き整備され小中高生が通学路として利用されている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地補償協議が難航し工事着手に期間を要したがほぼ解決し、工事約100m残す。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
平成15年度までにほぼ用地買収が完了し、全線にわたり工事を進めており、平成17年度に全線供用の予定。					
施設の構造や工法の変更等					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勧告し、公共事業評価監視委員会において決定。				
事業概要図					



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。